

研究科共通科目について

各研究科共通科目として、以下の科目を開講します。

履修希望者は、他専攻科目として履修してください。

※「インターンシップ」の履修希望者は、事前に指導教授・指導准教授に相談してください。

農学研究科

博士前期課程・修士課程

科目コード	科目名	単位	担当教員
MS99801	知的財産管理法	2	陳内秀樹 非常勤講師
MS99802	インターンシップ	2	専攻教員全員担当

博士後期課程

科目コード	科目名	単位	担当教員
DS99801	インターンシップ	2	専攻教員全員担当

応用生物科学研究科

博士前期課程

	科目コード	科目名	単位	担当教員
選択科目	MS40301	知的財産管理法	2	陳内秀樹 非常勤講師
	MS40302	インターンシップ	2	専攻教員全員担当

博士後期課程

	科目コード	科目名	単位	担当教員
必修科目	DS40201	知的財産管理法・研究倫理特論	1	松島芳隆 教授 前橋健二 教授 大石祐一 教授 服部一夫 教授
選択科目	DS40301	インターンシップ	2	専攻教員全員担当

応用生物科学研究科 農芸化学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

農芸化学専攻博士前期課程は、実学主義の理念を基に、人類の生活に関わる課題を食料、環境、健康の観点から農芸化学的アプローチにより解決する能力を修得させることを教育研究上の目的とする。

養成する人材像

食料、環境、健康の観点からの研究課題に対して、基礎・応用の両面から研究遂行能力を修得できる教育研究体制のもと、幅広い分野を対象にできる科学的解析能力、論理的展開能力を備えた人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

農芸化学専攻博士前期課程では、人類の生活に関わる課題を農芸化学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与する。

- ① 農芸化学に関する幅広い基礎知識と研究能力を有している。
- ② 得られた研究成果を自ら解析し、応用できる能力を有している。
- ③ 英語論文などから情報を的確に得て、応用できる能力を有している。
- ④ 学会発表などにより研究成果を伝えることのできる能力を有している。

履修方法

必修科目 26 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）、選択科目 2 単位以上の合計 30 単位を修得すること。

博士前期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員	
専攻科目	基礎科目	MS41201	研究倫理	2	1後	必		◎ 農学博士 五十君 静信 教授 ◎ 博士(薬学) 井上 順 教授 ◎ 農学博士 大山 卓爾 教授 ◎ 博士(農化) 辻井 良政 教授 ◎ 博士(農化) 野口 智弘 教授 ◎ 博士(農学) 樋口 恭子 教授 ◎ 農学博士 前田 良之 教授 ◎ 博士(農学) 松島 芳隆 教授 ◎ 博士(農化) 山本 祐司 教授 ◎ 博士(農学) 横田 健治 教授 ○ 博士(獣医) 梶川 揚申 准教授 博士(身教) 上岡 洋晴 教授 博士(農化) 富澤 元博 教授 医学博士 中江 大 教授
		MS41202	論文英語	2	1前	必		Barry Mckenzie 非常勤講師
		MS41203	プレゼンテーション法	2	1前	必		◎ 博士(農学) 松島 芳隆 教授 平尾 隆行 非常勤講師
		MS41204	生体機能化学 I	2	1前	必	必	◎ 農学博士 五十君 静信 教授 ◎ 博士(薬学) 井上 順 教授 ◎ 農学博士 大山 卓爾 教授 ◎ 博士(農化) 辻井 良政 教授 ◎ 博士(農学) 樋口 恭子 教授 ◎ 農学博士 前田 良之 教授 ◎ 博士(農学) 松島 芳隆 教授 ◎ 博士(農化) 山本 祐司 教授 博士(農学) 須惠 雅之 准教授
		MS41301	環境科学	2	1前	選	選	◎ 農学博士 大山 卓爾 教授 ◎ 博士(農学) 樋口 恭子 教授 ◎ 農学博士 前田 良之 教授 ◎ 博士(農学) 松島 芳隆 教授 博士(農学) 加藤 拓 准教授
		MS41205	生体機能化学 II	2	1後	必	必	◎ 農学博士 五十君 静信 教授 ◎ 博士(薬学) 井上 順 教授 ◎ 農学博士 大山 卓爾 教授 ◎ 博士(農化) 辻井 良政 教授 ◎ 博士(農学) 樋口 恭子 教授 ◎ 農学博士 前田 良之 教授 ◎ 博士(農学) 松島 芳隆 教授 ◎ 博士(農化) 山本 祐司 教授 博士(農学) 須惠 雅之 准教授
		MS41302	遺伝子工学	2	1後	選	選	◎ 博士(薬学) 井上 順 教授 ◎ 博士(農化) 山本 祐司 教授 ○ 博士(獣医) 梶川 揚申 准教授

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員	
専攻科目	特論科目	MS41501	土壌肥料学特論	2	1前	選必	選	◎ 農学博士 前田良之 教授
		MS41502	植物生産化学特論	2	1前	選必	選	◎ 農学博士 大山卓爾 教授 ◎ 博士(農学) 樋口恭子 教授
		MS41503	応用微生物学特論	2	1前	選必	選	◎ 農学博士 五十君 静信 教授 ◎ 博士(農学) 横田健治 教授 ○ 博士(獣医) 梶川揚申 准教授
		MS41504	食料資源理化学特論	2	1前	選必	選	◎ 博士(農化) 辻井良政 教授 ◎ 博士(農化) 野口智弘 教授
		MS41505	生物有機化学特論	2	1前	選必	選	◎ 博士(農学) 松島芳隆 教授
		MS41506	栄養・生化学特論	2	1前	選必	選	◎ 博士(薬学) 井上順 教授 ◎ 博士(農化) 山本祐司 教授
研究科目	MS41101	農芸化学特別演習Ⅰ	2	1前	必	必	◎ 農学博士 五十君 静信 教授	
	MS41102	農芸化学特別演習Ⅱ	2	1後	必	必	◎ 博士(薬学) 井上順 教授	
	MS41103	農芸化学特別演習Ⅲ	2	2前	必	必	◎ 農学博士 大山卓爾 教授	
	MS41104	農芸化学特別演習Ⅳ	2	2後	必	必	◎ 博士(農化) 辻井良政 教授	
	MS41105	農芸化学特別実験Ⅰ	2	1前	必	必	◎ 博士(農化) 野口智弘 教授	
	MS41106	農芸化学特別実験Ⅱ	2	1後	必	必	◎ 博士(農学) 樋口恭子 教授	
	MS41107	農芸化学特別実験Ⅲ	2	2前	必	必	◎ 農学博士 前田良之 教授	
	MS41108	農芸化学特別実験Ⅳ	2	2後	必	必	◎ 博士(農学) 松島芳隆 教授 ◎ 博士(農化) 山本祐司 教授 ◎ 博士(農学) 横田健治 教授 ○ 博士(獣医) 梶川揚申 准教授	

博士後期課程

教育研究上の目的

農芸化学専攻博士後期課程は、実学主義の理念を基に、農業を基礎とした人類の生活に関わる課題を食料、環境、健康の観点から農芸化学的アプローチにより独自に解決、公表し、世に問う能力を修得させることを教育研究上の目的とする。

養成する人材像

食料・健康・環境に関わる研究課題に対して、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者と高度専門職業人を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

農芸化学専攻博士後期課程では、人類の生活に関わる課題に対し、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者や高度専門職業人たる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し、博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

- ① 農芸化学に関する高度な専門知識と研究能力を有している。
- ② 高度な論文作成能力を有し、その研究成果をもとに国際社会に貢献できる。
- ③ 研究者、高度専門職業人の指導、育成に貢献できる。
- ④ 自ら研究課題を開拓し、独創的な研究を遂行できる。

履修方法

必修科目 15 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 17 単位以上を修得すること。

※研究科共通科目に必修科目があるため、必ず履修すること（p.27 参照）

博士後期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員		
専攻科目	基礎科目	DS41201	論文英語作成	2	1 後	必	◎ 農学博士 五十君 静 信 教授 ◎ 博士(薬学) 井 上 順 教授 ◎ 博士(農化) 辻 井 良 政 教授 ◎ 博士(農化) 野 口 智 弘 教授 ◎ 博士(農学) 樋 口 恭 子 教授 ◎ 博士(農学) 松 島 芳 隆 教授 ◎ 博士(農化) 山 本 祐 司 教授 ◎ 博士(農学) 横 田 健 治 教授 ○ 博士(獣医) 梶 川 揚 申 准教授	
		特論科目	DS41501	土壤肥科学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農学) 樋 口 恭 子 教授
			DS41502	植物生産化学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農学) 樋 口 恭 子 教授
			DS41503	応用微生物学後期特論	2	1 前	選必	◎ 農学博士 五十君 静 信 教授
								◎ 博士(農学) 横 田 健 治 教授
								○ 博士(獣医) 梶 川 揚 申 准教授
			DS41504	食料資源理化学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農化) 辻 井 良 政 教授 ◎ 博士(農化) 野 口 智 弘 教授
		DS41505	生物有機化学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農学) 松 島 芳 隆 教授	
		DS41506	栄養・生化学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(薬学) 井 上 順 教授 ◎ 博士(農化) 山 本 祐 司 教授	
		研究科目		DS41101	特別研究指導Ⅰ	4	1 通	必
DS41102	特別研究指導Ⅱ			4	2 通	必	◎ 博士(薬学) 井 上 順 教授	
DS41103	特別研究指導Ⅲ			4	3 通	必	◎ 博士(農化) 辻 井 良 政 教授	
							◎ 博士(農化) 野 口 智 弘 教授 ◎ 博士(農学) 樋 口 恭 子 教授 ◎ 博士(農学) 松 島 芳 隆 教授 ◎ 博士(農化) 山 本 祐 司 教授 ◎ 博士(農学) 横 田 健 治 教授 ○ 博士(獣医) 梶 川 揚 申 准教授	

応用生物科学研究科 醸造学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

必修の基礎科目として配置する「研究倫理」および「プレゼンテーション法」により研究者や技術者として必要な倫理および能力を身に付ける。「醸造学概論」および「応用微生物学特講」において醸造学専攻の研究分野に関する基礎的な内容を学ぶ。さらに特論科目を履修し、該当分野の造詣を深めると同時に英語論文を教材として用いることにより英語の読解力を養う。これらの科目と有機的なつながりを持ちながら研究科目を履修することにより、研究能力および問題解決力を修得させることを教育研究上の目的とする。

養成する人材像

醸造学専攻博士前期課程はわが国独自の醸造技術や発酵食品の科学的探求および次世代の微生物利用産業の発展に寄与するため、醸造に関わる微生物の分類、生態、構造、機能、遺伝、育種とその応用、醸造物・発酵食品の製造技術、解析、開発、醸造・食品産業における環境保全対策について取り扱う。本専攻では、これらにおける高度な知識と技術、研究能力を修得し、高度な問題解決力を身に付けた人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

醸造学専攻博士前期課程は、基礎科学知識に精通し、醸造に関わる微生物の分類、生態、構造、機能、遺伝、育種とその応用、醸造物・発酵食品の製造技術、解析、開発、醸造・食品産業における環境保全対策などに関する研究能力を有する人材ならびに高度な発酵技術を有し醸造業をはじめとする微生物利用産業の発展を支える研究者や高度専門職業人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与する。

- ① 醸造学を基盤とし、醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、又は醸造環境科学などの専門分野における確かな知識と技術を有している。
- ② 微生物学、食品科学または生物工学を基盤とした研究能力を有している。
- ③ 論文の執筆や口頭発表を行う能力、さらに多様な発信力を有している。
- ④ 科学者としての倫理を理解し、問題設定および解決能力を備えている。

履修方法

必修科目 24 単位、選択必修科目 4 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）、選択科目 2 単位以上の合計 30 単位を修得すること。

博士前期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員
専攻科目 基礎科目	MS42201	研究倫理	2	1前	必		◎ 博士(醸造) 門倉利守 教授 ◎ 博士(生工) 徳田宏晴 教授 ◎ 博士(工学) 藤本尚志 教授 ◎ 博士(生産) 穂坂賢二 教授 ◎ 博士(農化) 前橋健二 教授 ◎ 博士(農化) 石川森夫 准教授 博士(身教) 上岡洋晴 教授 博士(農化) 富澤元博 教授 医学博士 中江大教授
	MS42202	醸造学概論	2	1前	必	必	◎ 博士(醸造) 門倉利守 教授 ◎ 博士(生工) 徳田宏晴 教授 ◎ 博士(工学) 藤本尚志 教授 ◎ 博士(生産) 穂坂賢二 教授 ◎ 博士(農化) 前橋健二 教授 ◎ 博士(農化) 石川森夫 准教授 ◎ 博士(醸造) 進藤 准教授
	MS42203	応用微生物学特講	2	1後	必	必	◎ 博士(生環) 大西章博 准教授 ◎ 博士(農学) 徳岡昌文 准教授 ◎ 博士(農学) 中山俊一 准教授 ○ 博士(工学) 数岡孝幸 准教授 博士(理学) 鈴木敏弘 助教 博士(農学) 本間裕人 助教
	MS42204	プレゼンテーション法	2	2前	必		◎ 博士(醸造) 門倉利守 教授 ◎ 博士(生工) 徳田宏晴 教授 ◎ 博士(工学) 藤本尚志 教授 ◎ 博士(生産) 穂坂賢二 教授 ◎ 博士(農化) 前橋健二 教授 ◎ 博士(農化) 石川森夫 准教授 ◎ 博士(生環) 大西章博 准教授 ◎ 博士(醸造) 進藤 准教授 ◎ 博士(農学) 徳岡昌文 准教授 ◎ 博士(農学) 中山俊一 准教授 ○ 博士(工学) 数岡孝幸 准教授 博士(理学) 鈴木敏弘 助教 博士(農学) 本間裕人 助教

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員	
専攻科目	特論科目	MS42501	醸造微生物学特論I	2	1前	選必	選	◎ 博士(醸造) 門倉利守 教授 ◎ 博士(農学) 中山俊一 准教授
		MS42502	醸造微生物学特論II	2	1後	選必	選	◎ 博士(醸造) 門倉利守 教授 ◎ 博士(農学) 中山俊一 准教授
		MS42503	微生物工学特論I	2	1前	選必	選	◎ 博士(生工) 徳田宏晴 教授
		MS42504	微生物工学特論II	2	1後	選必	選	◎ 博士(生工) 徳田宏晴 教授
		MS42505	酒類生産科学特論I	2	1前	選必	選	◎ 博士(生産) 穂坂賢 教授 ◎ 博士(醸造) 進藤 准教授 ◎ 博士(農学) 徳岡昌文 准教授
		MS42506	酒類生産科学特論II	2	1後	選必	選	◎ 博士(生産) 穂坂賢 教授 ◎ 博士(醸造) 進藤 准教授 ◎ 博士(農学) 徳岡昌文 准教授
		MS42507	発酵食品化学特論I	2	1前	選必	選	◎ 博士(農化) 石川森夫 准教授
		MS42508	発酵食品化学特論II	2	1後	選必	選	◎ 博士(農化) 石川森夫 准教授
		MS42509	調味食品科学特論I	2	1前	選必	選	◎ 博士(農化) 前橋健二 教授
		MS42510	調味食品科学特論II	2	1後	選必	選	◎ 博士(農化) 前橋健二 教授
		MS42511	醸造環境科学特論I	2	1前	選必	選	◎ 博士(工学) 藤本尚志 教授 ◎ 博士(生環) 大西章博 准教授
		MS42512	醸造環境科学特論II	2	1後	選必	選	◎ 博士(工学) 藤本尚志 教授 ◎ 博士(生環) 大西章博 准教授
研究科目	MS42101	醸造学特別演習I	2	1前	必	必	◎ 博士(醸造) 門倉利守 教授	
	MS42102	醸造学特別演習II	2	1後	必	必	◎ 博士(生工) 徳田宏晴 教授	
	MS42103	醸造学特別演習III	2	2前	必	必	◎ 博士(工学) 藤本尚志 教授	
	MS42104	醸造学特別演習IV	2	2後	必	必	◎ 博士(生産) 穂坂賢 教授	
	MS42105	醸造学特別実験I	2	1前	必	必	◎ 博士(農化) 前橋健二 教授	
	MS42106	醸造学特別実験II	2	1後	必	必	◎ 博士(農化) 石川森夫 准教授	
	MS42107	醸造学特別実験III	2	2前	必	必	◎ 博士(生環) 大西章博 准教授	
	MS42108	醸造学特別実験IV	2	2後	必	必	◎ 博士(醸造) 進藤 准教授 ◎ 博士(農学) 徳岡昌文 教授 ◎ 博士(農学) 中山俊一 准教授 ○ 博士(工学) 数岡孝幸 准教授	

博士後期課程

教育研究上の目的

研究科共通科目と専攻基礎科目の履修により研究者としてキャリア形成していくための基礎を身に付ける。さらに特論科目を履修し、該当分野の造詣を深める。これらの科目と有機的なつながりを持ちながら研究指導科目を展開することにより、専門分野における創造的な研究能力と問題設定および解決にむけた指導的能力を修得させることを教育研究上の目的とする。

養成する人材像

醸造学専攻博士後期課程はわが国独自の醸造技術や発酵食品の科学的探求および次世代の微生物利用産業の発展に寄与するため、醸造に関わる微生物の分類、生態、構造、機能、遺伝、育種とその応用、醸造物・発酵食品の製造技術、解析、開発、醸造・食品産業における環境保全対策について取り扱う。本専攻では、これらにおける高度な知識と技術、創造的な研究能力と問題設定および解決にむけた指導的能力を修得した人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

醸造学専攻博士後期課程は、基礎科学知識に精通し、醸造に関わる微生物の分類、生態、構造、機能、遺伝、育種とその応用、醸造物・発酵食品の製造技術、解析、開発、醸造・食品産業における環境保全対策など学問分野において自立した研究活動ならびに指導を行うことのできる研究者を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

- ① 醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、又は醸造環境科学などの専門分野において高度な専門知識と創造的な研究能力を有している。
- ② 専門分野において問題設定および解決にむけた指導的能力を備えている。
- ③ 科学者としての倫理を理解し、その専門性に基づいて社会への責任を果たそうとする意欲を有している。

履修方法

必修科目 15 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 17 単位以上を修得すること。

※研究科共通科目に必修科目があるため、必ず履修すること（p.27 参照）

博士後期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員			
専攻科目	基礎科目	DS42201	英語によるプレゼンテーション	2	2 後	必	◎ 博士(醸造) 門 倉 利 守 教授 ◎ 博士(生工) 徳 田 宏 晴 教授 ◎ 博士(工学) 藤 本 尚 志 教授 ◎ 博士(生産) 穂 坂 賢 教授 ◎ 博士(農化) 前 橋 健 二 教授 ◎ 博士(農化) 石 川 森 夫 准教授 ◎ 博士(生環) 大 西 章 博 准教授 ◎ 博士(醸造) 進 藤 齐 准教授 ◎ 博士(農学) 徳 岡 昌 文 准教授 ◎ 博士(農学) 中 山 俊 一 准教授 ○ 博士(工学) 数 岡 孝 幸 准教授		
		特論科目	DS42501	醸造微生物学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(醸造) 門 倉 利 守 教授 ◎ 博士(農学) 中 山 俊 一 准教授	
			DS42502	微生物工学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(生工) 徳 田 宏 晴 教授	
			DS42503	酒類生産科学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(生産) 穂 坂 賢 教授 ◎ 博士(醸造) 進 藤 齐 准教授 ◎ 博士(農学) 徳 岡 昌 文 准教授	
								◎ 博士(農化) 石 川 森 夫 准教授	
			DS42504	発酵食品化学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農化) 前 橋 健 二 教授	
			DS42505	調味食品科学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農化) 前 橋 健 二 教授	
		DS42506	醸造環境科学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(工学) 藤 本 尚 志 教授 ◎ 博士(生環) 大 西 章 博 准教授		
		研究科目	特別研究指導	DS42101	特別研究指導Ⅰ	4	1 通	必	◎ 博士(醸造) 門 倉 利 守 教授
				DS42102	特別研究指導Ⅱ	4	2 通	必	◎ 博士(生工) 徳 田 宏 晴 教授
				DS42103	特別研究指導Ⅲ	4	3 通	必	◎ 博士(工学) 藤 本 尚 志 教授 ◎ 博士(生産) 穂 坂 賢 教授 ◎ 博士(農化) 前 橋 健 二 教授 ◎ 博士(農化) 石 川 森 夫 准教授 ◎ 博士(生環) 大 西 章 博 准教授 ◎ 博士(醸造) 進 藤 齐 准教授 ◎ 博士(農学) 徳 岡 昌 文 准教授 ◎ 博士(農学) 中 山 俊 一 准教授 ○ 博士(工学) 数 岡 孝 幸 准教授

応用生物科学研究科 食品安全健康学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

必修の専門科目として配置する「食品安全科学特論」および「食品機能科学特論」において教育研究の柱とする、「食品の安全性」と「食品の機能性」を学び、それ以外の専門科目などの履修により、各分野の造詣を深める。それにより、食品成分のリスクの意味を理解したうえで機能性を評価することができ、難度の高い問題を解決する能力を修得させることを教育研究上の目的とする。

養成する人材像

食品安全健康学専攻は、食品の安全性と食品の機能性を教育研究の柱とする。本専攻における「食品の安全性」とは、食品（成分）のリスクを科学的に評価し、リスクを的確に管理し、方法論を構築し、リスクに関する情報を正しく発信することである。また、「食品の機能性」とは、食品に関連する新規機能性成分を探索し、その機能を解明し、生体に応用することである。本専攻では、これら両分野における高度な知識と技術、研究能力を修得し、高度な問題解決力を身に付けた人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

食品安全健康学専攻博士前期課程は、「食品の安全性」と「食品の機能性」の両分野において、食の安全と健康機能上の問題解決力を身につけた研究者や高度な専門職業人を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与する。

- ①「食品の安全性」について、食品（成分）のリスクの科学的評価、当該リスクの的確な管理、さらに、リスク情報の正しい発信に関する深い造詣と、広範な専門的知識を修得している。
- ②「食品の機能性」について、食品中の新規機能性成分の探索、当該機能の解明と応用に関する深い造詣と、広範な専門的知識を修得している。
- ③ 前二項に関する専門的知識・研究能力・倫理性を持って修士論文を作成することを通じて、難度の高い問題を解決し、その結果を社会に対して的確に発信する能力を修得している。

履修方法

必修科目 26 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）、選択科目 2 単位以上の合計 30 単位を修得すること。

博士前期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員
専攻科目 基礎科目	MS43201	英語論文講読	2	1前	必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授 ◎ 博士(農学) 阿部 尚樹 教授 ◎ 博士(農学) 岩 槻 健 教授 ◎ 農学博士 上原 万里子 教授 ◎ 博士(農学) 大石 祐一 教授 ◎ 博士(医学) 高橋 信之 教授 ◎ 医学博士 中江 大 教授 ◎ 農学博士 中山 勉 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克宏 教授 ○ 博士(農学) 飯嶋 益巳 准教授
	MS43202	オミクス	2	1前	必	◎ 博士(医学) 高橋 信之 教授 ○ 博士(農学) 田村 倫子 准教授 農学博士 加藤 久典 非常勤講師
	MS43203	研究倫理	2	1後	必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授 ◎ 博士(農学) 阿部 尚樹 教授 ◎ 農学博士 上原 万里子 教授 ◎ 博士(農学) 大石 祐一 教授 ◎ 博士(医学) 高橋 信之 教授 ◎ 医学博士 中江 大 教授 ◎ 農学博士 中山 勉 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克宏 教授 博士(身教) 上岡 洋晴 教授 博士(農化) 富澤 元博 教授
	MS43204	プレゼンテーション法	2	2前	必	◎ 博士(農学) 岩 槻 健 教授 ○ 博士(農学) 飯嶋 益巳 准教授 ○ 博士(薬学) 小野瀬 淳一 准教授 ○ 博士(農学) 田村 倫子 准教授
	MS43301	フードモレキュラーバイオロジー	2	1前	選	◎ 博士(農学) 岩 槻 健 教授 ◎ 農学博士 上原 万里子 教授 ◎ 博士(農学) 大石 祐一 教授 ◎ 博士(医学) 高橋 信之 教授
	MS43302	フードバイオケミストリー	2	1後	選	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授 ◎ 博士(農学) 阿部 尚樹 教授 ◎ 農学博士 中山 勉 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克宏 教授 ○ 博士(農学) 飯嶋 益巳 准教授 ○ 博士(薬学) 小野瀬 淳一 准教授

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員		
専攻科目	特論科目	MS43401	食品安全科学特論	1	1 後	必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授 ◎ 医学博士 中江 大 教授 ◎ 農学博士 中山 勉 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克宏 教授	
		MS43501	生体分析科学特論	2	1 後	選必	◎ 農学博士 中山 勉 教授 ○ 博士(農学) 飯嶋 益巳 准教授	
		MS43502	リスク評価学特論	2	1 後	選必	◎ 医学博士 中江 大 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克宏 教授	
		MS43503	食品開発学特論	2	1 後	選必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授 ○ 博士(農学) 田村 倫子 准教授	
		MS43402	食品機能科学特論	1	1 後	必	◎ 博士(農学) 阿部 尚樹 教授 ◎ 博士(農学) 岩槻 健 教授 ◎ 農学博士 上原 万里子 教授 ◎ 博士(農学) 大石 祐一 教授 ◎ 博士(医学) 高橋 信之 教授	
		MS43504	生理活性物質学特論	2	1 後	選必	◎ 博士(農学) 阿部 尚樹 教授 ○ 博士(薬学) 小野瀬 淳一 准教授	
		MS43505	生理機能学特論	2	1 後	選必	◎ 農学博士 上原 万里子 教授 ◎ 博士(医学) 高橋 信之 教授	
		MS43506	生体環境解析学特論	2	1 後	選必	◎ 博士(農学) 岩槻 健 教授 ◎ 博士(農学) 大石 祐一 教授	
研究科目	MS43101	食品安全健康学特別演習Ⅰ	2	1 前	必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授		
	MS43102	食品安全健康学特別演習Ⅱ	2	1 後	必	◎ 博士(農学) 阿部 尚樹 教授		
	MS43103	食品安全健康学特別演習Ⅲ	2	2 前	必	◎ 博士(農学) 岩槻 健 教授		
	MS43104	食品安全健康学特別演習Ⅳ	2	2 後	必	◎ 農学博士 上原 万里子 教授		
	MS43105	食品安全健康学特別実験Ⅰ	2	1 前	必	◎ 博士(農学) 大石 祐一 教授		
	MS43106	食品安全健康学特別実験Ⅱ	2	1 後	必	◎ 博士(医学) 高橋 信之 教授		
	MS43107	食品安全健康学特別実験Ⅲ	2	2 前	必	◎ 医学博士 中江 大 教授		
	MS43108	食品安全健康学特別実験Ⅳ	2	2 後	必	◎ 農学博士 中山 勉 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克宏 教授 ○ 博士(農学) 飯嶋 益巳 准教授 ○ 博士(薬学) 小野瀬 淳一 准教授 ○ 博士(農学) 田村 倫子 准教授		

博士後期課程

教育研究上の目的

専攻専門科目において、教育研究の柱となる専門科目の履修により、各専門領域の造詣を深めさせる。それにより、食品成分のリスクの意味を理解したり、機能性を評価することができる、グローバルで、より高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決に向けてのリーダーシップを備えさせることを教育研究上の目的とする。

養成する人材像

食品安全健康学専攻は、食品の安全性と食品の機能性を教育研究の柱とする。本専攻における「食品の安全性」とは、食品（成分）のリスクを科学的に評価し、リスクを的確に管理し、方法論を構築し、リスクに関する情報を正しく発信することである。また、「食品の機能性」とは、食品に関連する新規機能性成分を探索し、その機能を解明し、生体に応用することである。本専攻では、これら分野における課題提案力、高度な知識と技術、研究能力を修得し、独立した研究者・教育者・行政官などとしての素養を身に付けた国際的に活躍する人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

食品安全健康学専攻博士後期課程は、「食品の安全性」と「食品の機能性」の分野において、独創的な問題解決力など、独立した研究者としての素養を身に付けた人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

- ①「食品の安全性」および「食品の機能性」の双方に関する深い専門知識と最先端の研究技術を修得し、新たな研究手法を開発する能力を有している。
- ② 前項に関する高度な専門的知識・研究能力に加え、倫理性を持って博士論文を作成することを通じて、新たな難度の高い課題を発見し、その課題に対し独創的な手法等により解決し、その結果を国際社会に対して的確に発信する能力を修得している。
- ③ 独立した研究者・教育者・行政官などとして、研究・教育・施策などの立案から実行に至る全過程を遂行し、将来、それぞれの分野で高い評価を得ることができる能力を有している。

履修方法

必修科目 15 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 17 単位以上を修得すること。

※研究科共通科目に必修科目があるため、必ず履修すること（p.27 参照）

博士後期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員		
専攻科目	基礎科目	DS43201	英語によるプレゼンテーション	2	2 後	必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授 ◎ 博士(農学) 阿部 尚 樹 教授 ◎ 博士(農学) 岩 槻 健 教授 ◎ 農学博士 上 原 万里子 教授 ◎ 博士(農学) 大 石 祐 一 教授 ◎ 博士(医学) 高 橋 信 之 教授 ◎ 博士(農化) 富 澤 元 博 教授 ◎ 医学博士 中 江 大 教授 ◎ 農学博士 中 山 勉 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克 宏 教授 ○ 博士(農学) 飯 嶋 益 巳 准教授	
		DS43501	ケミカルトキシコロジー特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農化) 富 澤 元 博 教授	
		DS43502	生体分析科学後期特論	2	1 前	選必	◎ 農学博士 中 山 勉 教授 ○ 博士(農学) 飯 嶋 益 巳 准教授	
		DS43503	リスク評価学後期特論	2	1 前	選必	◎ 医学博士 中 江 大 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克 宏 教授	
		DS43504	食品開発学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授 博士(農学) 田 村 倫 子 准教授	
		DS43505	生理活性物質学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農学) 阿部 尚 樹 教授 ○ 博士(薬学) 小野瀬 淳 一 准教授	
		DS43506	生理機能学後期特論	2	1 前	選必	◎ 農学博士 上 原 万里子 教授 ◎ 博士(医学) 高 橋 信 之 教授	
		DS43507	生体環境解析学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士(農学) 岩 槻 健 教授 ◎ 博士(農学) 大 石 祐 一 教授	
		研究科目	DS43101	特別研究指導Ⅰ	4	1 通	必	◎ 博士(農化) 阿久澤 さゆり 教授
			DS43102	特別研究指導Ⅱ	4	2 通	必	◎ 博士(農学) 阿部 尚 樹 教授
			DS43103	特別研究指導Ⅲ	4	3 通	必	◎ 博士(農学) 岩 槻 健 教授 ◎ 農学博士 上 原 万里子 教授 ◎ 博士(農学) 大 石 祐 一 教授 ◎ 博士(医学) 高 橋 信 之 教授 ◎ 博士(農化) 富 澤 元 博 教授 ◎ 医学博士 中 江 大 教授 ◎ 農学博士 中 山 勉 教授 ◎ 博士(医学) 美谷島 克 宏 教授 ○ 博士(農学) 飯 嶋 益 巳 准教授 ○ 博士(薬学) 小野瀬 淳 一 准教授 ○ 博士(農学) 田 村 倫 子 准教授

応用生物科学研究科 食品栄養学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

食を基盤としたヒトの生涯にわたる健康の維持・増進および疾病の予防・改善にかかわる食と栄養の専門的知識・技術と研究能力を修得し、問題を論理的に解決できる人材の育成を教育研究上の目的とする。

養成する人材像

食品栄養学専攻は、ヒトの生涯にわたる健康の維持・増進および疾病の予防・改善に向けた食の機能性の利用や、栄養管理などの専門的な研究を行い、さらに食品学および栄養学領域において、専門的知識・技術と研究能力を持った研究・行政・教育・医療分野などで指導的立場を担える専門家となる人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

ヒトの健康保持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する広範かつ確かな学識を獲得し、高度な専門職業人として食品栄養学周辺領域の人とも協同し社会で活躍できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与する。

- ① 食品栄養学の高度で広範な専門的基礎知識や技術、研究手法を修得している。
- ② 食品栄養学における高度専門職業人として活躍する際に求められる情報収集力、観察・分析力と論理的思考力、さらに、判断のプロセスや結果を説明する情報発信のためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有している。
- ③ 食品栄養学の研究に求められる高度な専門的研究手法を用いた優れた課題発見・分析力、さらには、修士論文作成における研究遂行力を有している。

履修方法

必修科目 22 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）、選択科目 6 単位以上の合計 30 単位を修得すること。

※研究科共通科目に必修科目がある場合、必ず履修すること（p.27 参照）

博士前期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員		
研究科目	基礎科目	MS44201	研究倫理	2	1前	必		◎ 農学博士 小西良子 教授 ◎ 博士(農化) 鈴木野弘子 教授 ◎ 博士(栄養) 高田和子 教授 ◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授 ◎ 博士(農学) 服部一夫 教授 ◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授 ◎ 博士(医学) 福山直人 教授 ◎ 博士(医学) 本間和宏 教授 ◎ 博士(生環) 松崎広志 教授 ◎ 博士(身教) 上岡洋晴 教授 ◎ 博士(農化) 富澤元博 教授 ◎ 医学博士 中江大 教授	
		MS44301	ニュートリゲノミクス	2	1前	選	選	農学博士 加藤久典 非常勤講師	
		MS44302	フード・バイオテクノロジー	2	1後	選	選	博士(農学) 小川英彦 教授 博士(農学) 坂田洋一 教授	
		MS44303	栄養統計学	2	1後	選		博士(保健) 村山洋史 非常勤講師	
		MS44304	論文英語	2	1後	選		Barry Mckenzie 非常勤講師	
		MS44305	プレゼンテーション法	2	2前	選		◎ 農学博士 小西良子 教授 ◎ 博士(農化) 鈴木野弘子 教授 ◎ 博士(栄養) 高田和子 教授 ◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授 ◎ 博士(農学) 服部一夫 教授 ◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授 ◎ 博士(医学) 福山直人 教授 ◎ 博士(医学) 本間和宏 教授 ◎ 博士(生環) 松崎広志 教授 ◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授 ◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授 ○ 博士(学術) 池田昌代 准教授 ○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授	
		特論科目	MS44401	食品栄養学特論	2	1前	必	必	◎ 農学博士 小西良子 教授 ◎ 博士(農化) 鈴木野弘子 教授 ◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授 ◎ 博士(農学) 服部一夫 教授 ○ 博士(学術) 池田昌代 准教授
			MS44501	食品生化学特論	2	1後	選必	選	◎ 農学博士 小西良子 教授 ◎ 博士(農学) 服部一夫 教授
			MS44502	フードシステム管理学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授
			MS44503	調理科学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(農化) 鈴木野弘子 教授 ○ 博士(学術) 池田昌代 准教授

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員	
専攻科目	特論科目	MS44504	食品機能利用学特論	2	1後	選必	選	◎ 農学博士 小西良子 教授 ◎ 博士(農化) 鈴野弘子 教授 ◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授 ◎ 博士(農学) 服部一夫 教授 ○ 博士(学術) 池田昌代 准教授
		MS44402	人間栄養学特論	2	1前	必	必	◎ 博士(栄養) 高田和子 教授 ◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授 ◎ 博士(医学) 福山直人 教授 ◎ 博士(医学) 本間和宏 教授 ◎ 博士(生環) 松崎広志 教授 ◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授 ◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授 ○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授
		MS44505	栄養生理学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(生環) 松崎広志 教授 ◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授
		MS44506	保健栄養学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(栄養) 高田和子 教授 ◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授 ◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授
		MS44507	臨床栄養学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(医学) 福山直人 教授 ◎ 博士(医学) 本間和宏 教授 ○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授
		MS44508	栄養機能学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(栄養) 高田和子 教授 ◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授 ◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授 ◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授 ○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授
研究科目	MS44101	食品栄養学特別演習Ⅰ	2	1前	必	必	◎ 農学博士 小西良子 教授	
	MS44102	食品栄養学特別演習Ⅱ	2	1後	必	必	◎ 博士(農化) 鈴野弘子 教授	
	MS44103	食品栄養学特別演習Ⅲ	2	2前	必	必	◎ 博士(栄養) 高田和子 教授	
	MS44104	食品栄養学特別演習Ⅳ	2	2後	必	必	◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授	
	MS44105	食品栄養学特別実験Ⅰ	2	1前	必	必	◎ 博士(農学) 服部一夫 教授	
	MS44106	食品栄養学特別実験Ⅱ	2	1後	必	必	◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授	
	MS44107	食品栄養学特別実験Ⅲ	2	2前	必	必	◎ 博士(医学) 福山直人 教授	
	MS44108	食品栄養学特別実験Ⅳ	2	2後	必	必	◎ 博士(医学) 本間和宏 教授 ◎ 博士(生環) 松崎広志 教授 ◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授 ◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授 ○ 博士(学術) 池田昌代 准教授 ○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授	

博士後期課程

教育研究上の目的

食品学や栄養学などの専門領域における高度な知識と創造的な研究能力を修得し、問題設定・解決能力および問題解決に向けてのリーダーシップを備えた人材の育成を教育研究上の目的とする。

養成する人材像

食品栄養学専攻は、食品の開発や安全性確保、医療における食事療法などの専門的な研究を行い、さらに食品学および栄養学領域において、豊富な専門的知識・技術と研究能力を有し、研究・産業発展などで指導的立場を担える高度な専門家を養成する。

学位授与方針（ディプロマポリシー）

ヒトの健康保持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する確固たる深い専門的知識および研究能力を有し、食品栄養学周辺領域の人とも協同し、問題解決に向けた指導的能力を備えた人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

- ① 食品栄養学の分野において、高度で深い体系的知識と分析力を有している。
- ② 科学者倫理を理解し、問題設定および課題解決に向けた指導的能力を有している。
- ③ 食品栄養学の分野における研究成果を国際的に発信できる能力を有している。

履修方法

必修科目 15 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 17 単位以上を修得すること。

※研究科共通科目に必修科目があるため、必ず履修すること（p.27 参照）

博士後期課程

記号・略称は p.26 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員
専攻科目	DS44201	研究計画策定法	2	1 前	必	◎ 農学博士 小西良子 教授
						◎ 博士(農化) 鈴野弘子 教授
						◎ 博士(栄養) 高田和子 教授
						◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授
						◎ 博士(農学) 服部一夫 教授
						◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授
						◎ 博士(医学) 福山直人 教授
						◎ 博士(医学) 本間和宏 教授
						◎ 博士(生環) 松崎広志 教授
						◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授
						◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授
						○ 博士(学術) 池田昌代 准教授
						○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員	
専攻科目	特論科目	DS44501	食品生化学後期特論	2	1前	選必	◎ 農学博士 小西良子 教授 ◎ 博士(農学) 服部一夫 教授
		DS44502	フードシステム管理学後期特論	2	1前	選必	◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授
		DS44503	調理科学後期特論	2	1前	選必	◎ 博士(農化) 鈴野弘子 教授 ○ 博士(学術) 池田昌代 准教授
		DS44504	栄養生理学後期特論	2	1前	選必	◎ 博士(生環) 松崎広志 教授 ◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授
		DS44505	保健栄養学後期特論	2	1前	選必	◎ 博士(栄養) 高田和子 教授 ◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授 ◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授
		DS44506	臨床栄養学後期特論	2	1前	選必	◎ 博士(医学) 福山直人 教授 ◎ 博士(医学) 本間和宏 教授 ○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授
研究科目	DS44101	特別研究指導Ⅰ	4	1通	必 必 必	◎ 農学博士 小西良子 教授	
	DS44102	特別研究指導Ⅱ	4	2通		◎ 博士(農化) 鈴野弘子 教授	
	DS44103	特別研究指導Ⅲ	4	3通		◎ 博士(栄養) 高田和子 教授 ◎ 博士(農学) 高橋公咲 教授 ◎ 博士(農学) 服部一夫 教授 ◎ 博士(医学) 日田安寿美 教授 ◎ 博士(医学) 福山直人 教授 ◎ 博士(医学) 本間和宏 教授 ◎ 博士(生環) 松崎広志 教授 ◎ 博士(農化) 勝間田真一 准教授 ◎ 博士(保健) 多田由紀 准教授 ○ 博士(学術) 池田昌代 准教授 ○ 博士(栄養) 若菜宣明 准教授	